

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 8月 6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470203310		
法人名	メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム三滝ひまわり		
所在地	広島市西区三滝本町2丁目25-10 (電話) 082-230-0888		
自己評価作成日	平成30年6月30日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3470203310-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年7月31日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

当施設では地域に開かれた施設を目指して、町内会で行われる行事やサークル活動へ積極的に参加している。地域の環境、住環境を活かし、近くの公園までの散歩を楽しんだり、平屋の作りを活かし、入居者の方も両棟を自由に行き来できるようになっている。全室に鍵と洋式トイレが設置しており、プライバシーの確保に配慮している。介護職員は毎月同法人グループでの勉強会とグループホーム独自の認知症介護に関連した内容の勉強会を行い、知識の向上に努めている。日々の関わりでは認知症になっても出来る事、わかる事に着目し、ご家族と共に出来る事を喜べる関係を目指している。また季節を感じながら、楽しめる行事を企画し支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

閑静な住宅街で緑豊かな環境の中、当事業所は平屋で玄関と事務所を軸に左右に其々ユニットが有る。中に入ると年間を通して行われている、数多くの手作り感あふれるイベントの写真が飾られ、内容は職員のアイデアが満載である。その中に食べる事の楽しさ大切さ（工夫）の支援が感じられる。職員は9割が介護福祉士の資格を持ち、個々のスキルも高く法人はステップアップの為の支援体制が整っている。利用者は職員の支援の下日々穏やかに過ごしている。設備面も当事業所には自前のラドン含有の温泉を有し、利用者は効能効果を楽しんでいる。また室内にはアイドル犬が2ユニットを行き来しており、利用者が関わる事でドックセラピーとしての役割も有る。管理者と職員は法人の協力を得ながら、日々サービスの向上を目指し支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を念頭においてサービスを実地する為にケア目標を作成し、朝礼の時に唱和している。	昨年まで目標は毎月変更していたが、検討した結果、今年の4月から目標は半年間継続し、理念及び目標の意味合いを共有しながら、実践に繋げるよう努力している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩や地域の行事に参加したり、月に2回の集会所での合唱会や季節ごとの町内清掃に職員、入居者の方と共に参加している。	設立当初より町内会に加入しており、地域の一員として職員と利用者は、共に行事等に参加し付き合っている。また利用者は交流することで、地域に認められた位置づけがある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	法人全体で情報を共有し、地域との協力体制を作っている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度開催しご家族様、町内会長、地域包括に、活動報告と行事の写真を見て頂いている。不参加の方には郵送し、職員は、議事録で確認してもらい、今後のサービス提供につなげている。	会議は定期的に行われている。会議への参加は常に家族、地域包括センター担当者と関係者が、支援の取り組み状況を聞き取ったり、アドバイス等意見交換を行いながらサービスの向上に取り組んでいる。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	事業所として出来る事は、積極的に協力している。また介護保険課の担当者に必要なことは報告している。困難事例があれば相談も行う姿勢でいる。事故報告書など必要な書類は迅速に送付している。	市町へは、運営推進会議の議事録を提出して繋がるよう努力している。またグループホームの意義や認知症への理解を、職員が講師として対応出来る様、アドバイザーとしての資格を活かし、協力関係を築く取り組みに努めている。	

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をテーマに、年に2回研修会をおこなっている。また入居の際、ご家族様にも説明している。やむを得ず拘束をする場合は管理者、相談員より説明し、同意を頂いている。	身体拘束をしないケアは、外部研修やそれを基に内部研修、日々の会議で把握している。例えば利用者が、外出を希望する場合は、職員と共に散歩をすることで穏やかになる等、取り組んでいる。また、身体拘束を行った事例はなく今後も拘束しない支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止をテーマに年に、2回研修会をおこない、虐待に対する意識を高めている。事業所内で虐待が起こらないように職員のストレス管理も行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ご家族様に相談を持ちかけられれば対応している。職員の知識の向上の勉強会を行い、資料も見れるようにファイルに綴じている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時はご本人又は、ご家族にわかりやすく説明を行い、納得された上で契約の締結をしている。不安、疑問点はいつでも聞いて頂くよう、声を掛けている。不安が残らない様に、その後のフォローにも気を配っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご本人様、ご家族様からの意見は記録に残し、カンファレンスで話し合いを行い、サービス向上委員会で再度検討している。運営推進会議でも報告している。	家族が来所時等に意見を求める機会は設けている。事業所は、担当者から定期的到手紙や電話等で、身近な出来事を知らせる努力はされている。例えば家族から車いすの必要性を相談され検討を行い、取り入れた事がある。	

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度、全体カンファレンスを行なっている。欠席者は意見を用紙に書いて、事前に提出している。連絡事項はノートなど活用し、申し送りでも再確認している。ユニットごとに問題があれば、その都度話し合いも行っている。	事業所は働きやすい環境を作る為の体制は整っている。職員からの意見は会議の場のみでは無く、個人面談や様々な場面でやっている。また職員からの要望があれば、スタッフ会議で話し合い、必要に応じて法人のひまわり会議に図り、意見の反映に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎週、現場を確認し、管理者より報告を行なっている。必要時にも電話やメールにて報告を行ない指示、アドバイスをしている。又人事考課も取り入れている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	関連法人グループの研修を月に1度、グループホーム内の研修を月に1度行っており、研修後は現場で行かせるような内容になる様に工夫をしている。必要に応じて外部研修にも参加しており、現場にフィードバックできるように研修報告書は職員も回覧するようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内のグループホーム（5事業所）と2ヶ月に1度話し合いの場を設け、事業所の状態や取り組みの意見交換を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご利用者お一人おひとりに職員担当をつけ、その職員を中心に、面接時の情報を確認しながら、ご本人様の想いを知り、記録することで、情報の共有を行っている。ご家族からも情報を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>面接時、見学時の情報を記録に残し、共有している。これまでの生活歴など本人様、家族様に確認し、情報の共有を行っている。利用開始日の夜間と次の日の朝には、必ず電話にてご本人の状況を伝えている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>介護保険制度のサービスについて、必要に応じて情報提供し、担当のケアマネジャーに相談しながら、話しを勧めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の想いを尊重し、意見を聴いてから行動するようにしている。ご本人の好きな事、得意な事を一緒に行い、共に喜ぶことのできる関係作りを目指している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>職員は面会時に近況を報告し、日々のご様子を知って頂けるようにしている。また、ご家族だけで過ごす時間、職員も含めて過ごす時間の必要性を考え、誕生日会などを計画、相談し、ご家族と共に本人も支えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族に協力頂き、馴染みの物を持ち込んだり、馴染みの場所などの情報をもったりしている。可能であれば、馴染みの場所にご家族と共に出かけている。</p>	<p>職員は、利用者が大切にしてきた生活歴を把握し、また毎日の生活を通して、本人が好きなこと嫌いなことを理解し、関係継続の支援に努めている。例えば家族と共に定期的に自宅に外泊する等、希望に応じた本人本位の支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者の方の心身の状態が異なり、トラブルもみられるが、職員が介入し、利用者同士の関係が構築できるように見守り、関わりながら、気を配っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用後は、本人、家族の意向を確認しながら相談の上、同法人全体でバックアップしている。利用後も希望があれば、再契約を行っている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスを通じてニーズや問題点を探し、ケアプランに反映している。ご家族の声かけによる意向の把握も必要である。	平素の会話の中で家族と連携を取り、出来る限り思いが実現出来るよう取り組んでいる。職員は、利用者一人ひとりのライフスタイルや生活歴を確認し、検討しながら希望に応えられるよう支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族やケアマネジャーより、情報を頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子を生活行動記録に記入している。カンファレンスで職員間で情報を共有し、利用者の現状把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>担当者を中心に、半年ごとにプランを見直し、3か月ごとにモニタリングを行っている。ご本人、ご家族の意向を反映し、作成している。</p>	<p>モニタリングは3ヶ月に1回本人、家族の意見が核となり、必要な関係者が現状に即した計画を作成している。又、カンファレンスを行い、状態の変化がある場合は、評価、見直しを行い介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>本人の発言、行動を中心に記録し、必要に応じて連絡ノートに記入し、職員間で共有している。カンファレンスで生活行動記録を参考に話し合い、介護計画を見直している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>急遽の病院受診の場合など、ご家族が同行出来ない場合は職員で対応している。ご家族の希望も確認しながら、外出、外泊の支援も行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の清掃活動、町内の季節ごとの行事や合唱会の参加など、地域の方との交流を持てる場を提供している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2～4週間に1度、定期受診し、主治医には利用者の方の日々の様子を報告している。歯科、皮膚科は往診にて対応しており、ご家族の方には面会時、または電話にて受診結果等お伝えしている。</p>	<p>利用者は、母体である医療機関(内科・心療内科)をかかりつけ医とし、24時間体制で支援され、受診は定期的に行われている。協力歯科医や皮膚科を含め、定期的に受診している。母体が医療法人である為、家族には好評を得ている。また緊急時を含め、他科への受診も連携している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1度、医療連携の看護師の往診があり、相談している。電話等でも常時相談が出来る体制になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の相談員と情報交換を行い、退院に向けての相談を行っている。電話だけでなく、直接訪問するようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	主治医に相談しながら、家族の方と重度化した場合の対応について話している。必要であれば、主治医より説明を行なっている。ご本人、ご家族の意向をできるだけ尊重できるように、代弁も行っている。	管理者は看取りの経験があり、入所時には家族等に説明が行われ、同意書を交わし方針を共有しながら支援する体制が確保されている。重度化した場合改めて家族と話し合いを行い、家族の気持ちに寄り添い、チームで安心してケア出来るよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	早期発見を心がけ、マニュアルも作成しているが、実践訓練が行えていない。勉強会は、年に1度行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	マニュアルを作成し、消防職員、家族の方立ち合いの避難訓練を年に1度と、同法人グループと合同の避難訓練を、毎月行っている。また同法人グループの応援体制も整っており、マニュアル化している。	事業所は警戒区域場所になっている。そのため事業所は常に早めの避難態勢をとるようにしている。年2回の消防訓練は夜間を含め、利用者と共にしている。更には消防署よりスモークマシンの借りて、実践さながらの訓練も行われている。また地域との協力体制も整えている。	

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者を人生の先輩として接し、相手の立場に立って声かけを行なっている。職員間でも注意し合える関係を目指している。利用者に関する情報は外部に漏らさない様に徹底している。居室にトイレ、洗面所も完備し、プライバシーに配慮している。	職員は利用者一人ひとりの生活歴を把握し、情報を共有している。また職員研修は接遇、権利関係等を行い、伝達講習（接遇のロールプレイ）や回覧を通じて共有し支援に繋げている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	着替える服を選んで頂いたり、食事メニューの希望を聞くなど、本人の意向を尊重し、選択できる場面をできるだけ作るように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	今までやってこられた事や好きな事を意識し、役割を持った生活が送れるように支援している。食事、おやつ、入浴の時間を体調やご希望により、本人様のペースで行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節感のある服を本人とともに選んだり、外出時には女性はお化粧、男性は髭剃りなどの声かけやお手伝いをしている。鏡を見ながら、ご本人に出来るところまではして頂き、そのうえで援助している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理や食器洗いなど一緒に行っている。メニューは利用者の方に食べたいものをお聞きし、取り入れている。食材をスーパーへ一緒に買い物へ行き、欲しい物をお聞きしている。	日常の食事は、各ユニットが献立や味の工夫がされ、利用者は美味しそうに完食している。テーブルの配置や高さ等も、個々に合ったものが使用されている。時には近くに出掛け、甘いものを食べたりしている。職員は工夫しながら食事を楽しむことの出来る支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>主食も肉と魚が続かないように工夫し、野菜を多めに使用するように心がけ、食事時には、出来る限り汁物を付ける様にしている。体重の管理を行い、主治医に相談しながら、食事量を調整している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアの声かけ、介助を行い、清潔面だけでなく、誤嚥を防ぐ為にも、口腔ケアについての勉強会を年に1度、歯科医師を講師に行っている。何かあればすぐに相談できる訪問歯科が在る。一部の利用者の方は週に1度、嚥下機能のリハビリもお願いしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日中、可能な限り布パンツを使用し、汚染確認を行っている。紙パンツを使用している方は、布パンツで対応できる時間帯など話し合い、実施している。</p>	<p>職員は利用者の排泄パターンを記録し、誘導の機会を把握しながら支援している。更には、その人の残存能力を少し助ける事で、排泄の自立に向けて日々話し合い、工夫を重ね情報を共有し支援に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日の排便確認と毎朝の食事やおやつに、乳製品や野菜ジュースなどを取り入れている。便秘の原因がそれぞれ違うことを理解し、水分を多くとってもらい、運動量を増やすなど、個別に対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎朝バイタル測定を行ない、問題がなければ、日勤帯ではあるが、時間帯なるべく本人の希望にて、入浴して頂いている。</p>	<p>利用者や家族の希望に合わせて、一人ひとり快適な入浴を心掛けている。当事業所は温泉（冷泉を温めた湯）が利用出来、利用者は毎回効能を含めた入浴を楽しんでいる。現在は入浴困難な利用者はいない。</p>	

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>前日の夜間の状態を把握し、日 中の体調も考えながら、必要な 方には日中、臥床時間を設けるよ うにしている。不眠時には、お話 を聞いたり、出来るだけ気分が落 ち着かれるよう配慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬ファイルの作成や、処方され た薬の説明書を個人別に整理し、 職員全員が把握できるようにし ている。内服薬の変更時は申し送 りを行い、連絡ノートへ記載し、 内服確認表へも付箋を貼り分か るようになっている。配薬ミス のないよう、出勤者でダブルチ ェックを行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。</p>	<p>ご利用者お一人おひとり、出来 る事に違いがあり、想いも違う事 を念頭に置き、分担して頂きなが ら、職員と共に家事を行っている。 声掛けの方法に工夫しながら、 役割を持って頂き、自信につな げている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。</p>	<p>ご家族に相談し、外出、外泊を お願いしている。外食はご家族様 と職員が共に出かけている。地域 行事や法人での行事にも積極的 に参加している。連泊で外泊され る場合も対応している。</p>	<p>利用者の状態（平均年齢が高い） を考慮し、外出のタイミングを計 っている。日頃は近くに散歩に出 掛けたりもしているが、長い距 離は困難な場合がある。職員は 季節に応じた外出を楽しむ支 援に、家族の協力の下取り組ん でいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる。</p>	<p>ご本人の希望で、なにか購入する 場合はご家族に了解を得て行っ ている。レジでのお金のやり取り も大切だと考えている為、可能 であれば、本人と共に日用品の 買い物に出かけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(東棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族に事前に了解を得て、本人の希望時には連絡をしている。ご家族から郵便物が届いた場合は、ご本人と共に連絡している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビング内はできるだけ明るく光を取り込み、夏にはブラインドで暑さの調整をしている。また、季節を感じていただけるように、見えるところに季節の花を飾っている。写真や季節の物も展示している。</p>	<p>日中は歌を歌ったり、みんなで塗り絵等楽しんだり、ソファでうたた寝する利用者もいるが、賑やかな心地良さやみんなと一緒にいる安心感が共用空間に感じられる。また光や空調管理はもとより、清潔で衛生管理もされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>集団で何かを行う時と、個別で行う時を、その都度、机の配列を変え行っている。普段も団欒の場を大切にしている。個別で行うことを希望される方には、配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>棚、椅子、TV、家族写真など、使い慣れたものや、近くにあることで安心感につながるものを持参して頂くよう、家族の方にも協力頂いている。家族写真やアルバムなどの持込み等もお願いしている。</p>	<p>居室は洗面台と広めのトイレが備え付けられ、広い窓から借景の緑が目に入ってくる。また必要時には、家族が泊まれるような配慮もされている。職員は、利用者一人ひとりが大切にしているものを把握し、居心地よく過ごせるよう支援に努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>転倒を防ぐ為に、職員間で話し合いを行いながら、家具の配置に気を配っている。再々の模様替えは、混乱する事も認識して避けている。ベッドの位置などは、個々に合わせて変更している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を念頭においてサービスを実地する為にケア目標を作成し、朝礼の時に唱和している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩や地域の行事に参加したり、月に2回の集会所での合唱会や季節ごとの町内清掃に職員、入居者の方と共に参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	法人全体で情報を共有し、地域との協力体制を作っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度開催しご家族様、町内会長、地域包括に活動報告と行事の写真を見て頂いている。不参加の方には郵送し、職員は、議事録で確認してもらい、今後のサービス提供につなげている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	事業所として出来る事は積極的に協力している。また介護保険課の担当者に必要なことは報告している。困難事例があれば相談も行う姿勢でいる。事故報告書など必要な書類は迅速に送付している。		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をテーマに年に2回研修会をおこなっている。また入居の際、ご家族様にも説明している。やむおえず拘束をする場合は管理者、相談員より説明し、同意を頂いている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止をテーマに年に2回研修会をおこない、虐待に対する意識を高めている。事業所内で虐待が起こらないように職員のストレス管理も行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>ご家族様に相談を持ちかけられれば対応している。職員の知識の向上の勉強会を行い、資料も見れるようにファイルに綴じている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時はご本人様又は、ご家族様にわかりやすく説明を行い、納得された上でおこなっている。不安、疑問点はいつでも聞いて頂くよう声を掛けている。不安が残らない様にその後のフォローにも気を配っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご本人様、ご家族様からの意見は記録に残し、カンファレンスで話し合いを行い、サービス向上委員会で再度検討している。運営推進会議でも報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度全体カンファレンスを行なっている。欠席者は意見を用紙に書いて、事前に提出している。連絡事項はノートなど活用し、申し送りでも再確認している。ユニットごとに問題があれば、その都度話し合いも行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎週、現場を確認し、管理者より報告を行なっている。必要時にも電話やメールにて報告を行ない指示、アドバイスをしている。又人事考課も取り入れている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	関連法人グループの研修を月に1度、グループホーム内の研修を月に1度行っており、研修後は現場で行かせるような内容になる様に工夫をしている。必要に応じて外部研修にも参加しており、現場にフィードバックできるように研修報告書は職員も回覧するようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内のグループホーム(5事業所)と2ヶ月に1度話し合いの場を設け、事業所の状態や取り組みの意見交換を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご利用者お一人おひとりに職員担当をつけ、その職員を中心に、面接時の情報を確認しながら、ご本人様の想いを知り、記録することで、情報の共有を行っている。ご家族からも情報を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面接時、見学時の情報を記録に残し、共有している。これまでの生活歴など本人様、家族様に確認し、情報の共有を行っている。利用開始日の夜間と次の日の朝には、必ず電話にてご本人の状況を伝えている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	介護保険制度のサービスについて必要に応じて情報提供し、担当のケアマネジャーに相談しながら、話しを勧めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	本人の想いを尊重し、意見を聴いてから行動するようにしている。ご本人の好きな事、得意な事を一緒にいき、共に喜ぶことのできる関係作りを目指している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	職員は面会時に近況を報告し、日々のご様子を知って頂けるようにしている。また、ご家族だけで過ごす時間、職員も含めて過ごす時間の必要性を考え、誕生日会などを計画、相談し、ご家族と共に本人も支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族に協力頂き、馴染みの物を持ち込んだり、馴染みの場所などの情報をもたらしたりしている。可能であれば、馴染みの場所にご家族と共に出かけている。		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者の方の心身の状態が異なり、トラブルもみられるが、職員が介入し、利用者同士の関係が構築できるように見守り、関わりながら、気を配っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用後は、本人、家族の意向を確認しながら相談の上、同法人全体でバックアップしている。利用後も希望があれば、再契約を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスを通じてニーズや問題点を探し、ケアプランに反映している。ご家族の声かけによる意向の把握も必要である。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族やケアマネージャーより、情報を頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子を生活行動記録に記入している。カンファレンスで職員間で情報を共有し、利用者の現状把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	担当者を中心に、半年ごとにプランを見直し、3か月ごとにモニタリングを行っている。ご本人、ご家族の意向を反映し、作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	本人の発言、行動を中心に記録し、必要に応じて連絡ノートに記入し、職員間で共有している。カンファレンスで生活行動記録を参考に話し合い、介護計画を見直している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	急遽の病院受診の場合など、ご家族が同行出来ない場合は職員で対応している。ご家族の希望も確認しながら、外出、外泊の支援もしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の清掃活動、町内の季節ごとの行事や合唱会の参加など、地域の方との交流を持てる場を提供している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	2～4週間に1度、定期受診し、主治医には利用者の方の日々の様子を報告している。歯科、皮膚科は往診にて対応しており、ご家族の方には面会時、または電話にて受診結果等お伝えしている。		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	週に1度、医療連携の看護師の往診があり、相談している。電話等でも常時に相談が出来る体制になっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	病院の相談員と情報交換を行い、退院に向けての相談を行っている。電話だけでなく、直接に訪問するようにしている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	主治医に相談しながら、家族の方と重度化した場合の対応について話をしている。必要であれば、主治医より説明を行なっている。ご本人、ご家族の意向をできるだけ尊重できるように、代弁も行っている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	早期発見を心がけ、マニュアルも作成しているが、実践訓練が行えてない。勉強会は年に1度行っている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	マニュアルを作成し、消防職員、家族の方立ち合いの避難訓練を年に1度と、同法人グループと合同の避難訓練を、毎月行っている。また同法人グループの応援体制も整っており、マニュアル化している。		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	法人内の個人情報保護委員会指導を基に慎重に扱うようにしている。同法人グループと協力して、2ヶ月に一度のチェックも行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	1人1人の状態に合わせて、些細な事でも本人が決定する場面を作るよう心掛けている。例えば、更衣時に服を選んで頂いたり、おやつ飲み物は選択出来るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	今までやってこられた事や好きな事を意識し、役割を持った生活が送れるように支援している。食事、おやつ、入浴の時間を体調やご希望により、本人様のペースで行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節感のある服を本人とともに選んだり、外出時には女性はお化粧品、男性は髭剃りなどの声かけやお手伝いをして、鏡を見ながら、ご本人に出来るところまではして頂き、そのうえで援助している。衣類の汚れがあれば随時更衣を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	イベントや季節に合ったメニューを取り入れている。誕生日には本人の食べたい物を本人、家族に聞いて提供している。調理は出来る事を活かして行っている。ホットプレートなどを使って、皆で出来る料理や、おやつも取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事のメニューは献立表を利用し、バランスを考え、提供している。10時、15時、入浴後には必ず水分を摂って頂き、摂取量の少ない方は水分摂取表を活用している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアの声かけ、介助を行い、清潔面だけでなく、誤嚥を防ぐ為にも、口腔ケアについての勉強会を年に1度、歯科医師を講師に行っている。何かあればすぐに相談できる訪問歯科が在る。個々に口腔ケア指導もお願いしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握した上で、紙パンツや布パンツの使用を決めている。トイレでの排泄を大切にしており、大パット、中パット、小パットを使い分けている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>下剤に頼るだけではなく、食事内容や毎朝の牛乳やヨーグルト提供するなど意識している。ホーム内の散歩も取り入れ、実施している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日勤帯ではあるが、1番風呂が好きな方、ゆっくり入りたい方など、入居者の都合も配慮している。温度も毎回確認し、適温で入浴して頂ける様支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>年齢や生活リズムを考慮した上 で、日中間の臥床時間を設け、 昼夜逆転のないように支援して いる。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬の変更時はノートや服薬管理 ファイルで常に対応している。個 人のカルテに薬説明書を綴じ、 職員全員が確認できるようにし ている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>体調を考慮した上で、本人様の 出来る事、したい事を支援して いる。家族様の情報や、日々の 生活の中での様子を見ながら、 外出や行事参加の支援も行って いる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。</p>	<p>家族様にも協力して頂き、外出 やドライブを行っている。不定 期ではあるが、ボランティアの 行事や外出をケアプランに取り 入れ、家族様へ協力をお願いし ている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>ご本人の希望で、何か購入する 場合はご家族に了解を得て行っ ている。レジでのお金のやり取 りも大切だと考えている為、可 能であれば、本人と共に日用 品の買い物に出かけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(西棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族に事前に了解を得て、本人の希望時には連絡をしている。ご家族から郵便物が届いた場合は、ご本人と共に連絡している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビング内はできるだけ明るく光を取り込み、夏にはブラインドで暑さの調整をしている。また、季節を感じていただけるように、見えるところに季節の花を飾っている。写真や季節の物も展示して、職員と入居者で談話しやすい場所も作っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居室には鍵があり、プライバシーが確保できている。リビングでは入居者同士の相性も考え、席を決めている。ソファも十分あり、談話しやすい場所も作っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自分の部屋と理解して頂く為に表札も用意し、自宅にあるタンスや、本人が使っていたものを家族に協力頂き、持ち込んでもらっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	個々により、ベッドの配置も考え、本人の利用しやすいよう、テーブルも置き、自分らしさも大切にしている。時には貼り紙もさせて頂き、分かりやすい様に工夫している。		

V アウトカム項目(東棟) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(西棟) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム三滝ひまわり

作成日 H30年9月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員のモチベーション維持のため、現在も月間目標のあり方を考えてはどうか。	理念に沿った目標を、職員全員で考える。	毎月のスタッフ会議で目標設定、評価について話し合い、スタッフ会議に出席していない職員からも意見を聞く。決まった目標は毎朝全員で唱和する。	6ヶ月
2	48	現在も日々の役割、レクリエーションを行なっているが、さらに充実させて、楽しい時間を過ごしてもらえないか。出来る職員が限られているため、みんなが実践できるようにしたい。	喜びを感じて頂けるような、レクリエーションを提案し、実践する。	まずは週に2回、火曜日と木曜日を集団レクリエーションの日とレク担当職員を決めて、行うこととする。	2ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。